

「下町ボブスレー」の中核企業 徹底した、ヒト・設備への投資で幅広い注文に対応

当社はアルミを中心とした金属の材料販売から精密加工・検査まで一貫して手掛ける。顧客は、航空・宇宙・防衛産業から医療分野まで幅広い。また、大田区の町工場の連携による「下町ボブスレープロジェクト」の中核企業と知られ、代表者は、プロジェクトの初代委員長を務めた。同プロジェクトに関する100社以上のネットワークを持ち、自社がカバーできない工程についても一括受注し、「仲間回し」と呼ばれる他社との連携を活用し、難易度の高い受注にも短納期で対応している。

- | | | | |
|----------|---|--------|---------|
| ● 所在地 | 東京都大田区南六郷3-22-11 | ● 設立 | 1992年 |
| ● 電話/FAX | 03-3733-3915/03-3733-3819 | ● 資本金 | 2,001万円 |
| ● URL | http://www.material-web.net | ● 従業員数 | 30人 |
| ● 代表者 | 代表取締役 細貝 淳一 | | |



自動化機械設備への投資で人手不足に対応

パレットチェンジャーを装備した大型の同時5軸制御マシニングセンターなど最新の自動化機械設備等の計画的な設備投資を実施したことにより、スタッフが退社した後、夜間においても無人運転を可能とした。これにより、顧客からの短納期化の要望や、昨今の課題である人手不足への対応を可能にした。これにより同業他社に対する競争力になっていることに加え、社員は、週休完全2日制で1日8時間労働、残業も皆無で働き方改革も実現している。



夜間でも無人で操縦するロボット

アナログとデジタルを融合させた独自の生産管理

生産管理には、巨大なホワイトボードに納期や加工内容が書き込まれたマグネット式のパネルを使用し、内容を確定したら、独自の生産管理システムにひも付けする。誰もがひと目で1日の流れを把握できること、最初から全てを生産管理システムに入力してしまうと変更事項発生時、修正に時間を要するため、あえてアナログな手法も取り入れる。また、材料をバーコードで管理、生産管理システムを通して、材料の所在、加工の進捗度もすぐに確認が可能で、作業の効率化を実現している。



マグネット式パネルで生産管理

国家資格取得者も多数輩出 独自のシステムで技能者育成

独自の人事システムで社員の技能向上を目指している。評価では、主観だけにならないよう、年4回、個人の力量を「人材マップ」により認定、レベルごとに個人が目標を設定して、達成度とともに評価する。育成面では、資格取得（技能検定等）を推奨、種類や難易度に応じてポイントを設定、取得時には報奨金を支給することで、やる気を引き出す。結果、現場作業員11名中9名が国家資格であるマシニングセンタ作業一級技能士資格を保有している。



「大田の工匠Next Generation」表彰式